

定例会議9月分（熱中症の事例、10月からの時給）の感想

熱中症と風邪の診断が違って、対応が遅れてしまったケースの共有は、今後の判断材料になり有り難かったです。後半で、話が出ていたエアコンに関することから、本人様の意識を尊重しつつ、折り合いを付けて、安全確保するのは、ケースにより色々で、ヘルパーのセンスが活きる場所かと思いました。

今年はまだまだ暑い日が続いているので熱中症対策は利用者様、自分自身も気をつけて過ごしたいです。移動支援にも時給アップがあり嬉しいです。有難うございます。

まだまだ暑い日が続くので熱中症には気を付けないといけないと思いました。よく観察をして利用者様の言葉を信じ過ぎない事。再認識しました。

事例共有ありがとうございます。スキルアップに繋がります。賃金アップ嬉しく感じております。業務に反映させます。

熱中症の事例共有の話しを聞かせてもらい、高熱があり、ふらつきがあっても、風邪と思わず、色々な病気の事を考えなければならぬと、おもいました。

熱中症の事例、参考になりました。まだまだ暑い中、利用者さんの自宅の環境や外での支援時、熱中症対策続けていこうと思います。

事故の予防と軽減の方法論について、事例の中で体調不審を思い声掛けを行っている。もう一步踏み込んで疑ってみるのも有りで、ヘルパーの気付きは「予防と軽減」ではとても有効かなと思う。また、無闇にコロナ検査をやらなくても医者・看護師に状況を説明してたらどうかなと思います。

定例会議9月分（熱中症の事例、10月からの時給）の感想

風邪ではなく熱中症だった、という話で、病院でも判断できないような症状をスタッフが判断することは不可能かもしれないけど、その都度の状況把握や情報伝達・引継ぎの重要性を感じました

事例共有をしていろんな意見を聞くことができてよかったです。利用者さんの意向を尊重してあげたいけど、それでいいのかどうかの葛藤です。うまく納得のいくように誘導してあげることができたらいいなあと思いました。

熱中症の事例には、びっくりすると同時に今年の暑さの中ではあるあるだと思いました。私自身が、自宅で油断から熱中症になりかけました。自分自身で気がついて対処したため、大事に至りませんでした。同居する夫との暑さを感じる温度差もしかりで、今までの大丈夫は通用しないという事を、再度認識しました。

この時期夏風、熱中症、コロナと症状がよく似ているから判断が難しいですね。利用者さんのお宅に滞在中は、温度管理ができますが、退室したあとは、分からないので心配ですが、声掛けはしていきます。

熱中症の事例は、びっくりしました。病院に行ったら安心してしまいます。今回の事例を、知れて良かったです。

熱中症の事例とても怖く感じました。高齢者の方はなかなか暑さを感じないとよく言われているのでこの夏もエアコンの使用の声かけしてきました。最近使ってくれているので少し安心していました。高齢者でなく若くても外での活動の時水分補給や休憩の声かけ必要だと再度感じました。自分自身も気をつけなければならないと思いました。

定例会議9月分（熱中症の事例、10月からの時給）の感想

利用者様の言う事を信じすぎないで自分の意見もしっかりと持つべきだと思いました。まだ暑い日が続くと思うのでより一層気をつけて支援しようと思います。

賃金アップはありがたいです。

皆さん暑さで疲れていますが、体調を整えて体力思考を活動的に保ちたいと思います。他者の価値観を尊重する事を忘れない様にしたいと思います。

自分自身や支援している利用者様も熱中症やコロナになった事がない事で、危機感の薄い事を反省しました。

熱中症の共通事例でまだまだ暑さ厳しく、自分自身も気を付けないと認識。

事例を聞くと医者から言われたらそうなのかと思うけどヘルパーさんが何時もと違うを気をつけその後連絡したりしないといけない時もあるなと思いました。支援者さんと自身も体調管理して対策考えたいと思います。

熱中症にかぎらず色々な意味で利用者との信頼関係はだいじですが、それを見極める自分自身をもっと向上出来るようにしたいです。

リバーランの記入普段から本人様には言えない報告はサ責に直接連絡して共有していましたが、今回利用者の方も内容を見れると知ったので引き続き、本人様には言いづらい報告は、引き継ぎ事項に記入し、サ責に報告するように徹底します。

熱中症は水分補給やエアコンが必要ですが、本人に拒否されると対応しにくいです。ヘルパーの意見も聞いて頂けるよう日頃からの関わりを大切にしていきたいと思います。

定例会議9月分（熱中症の事例、10月からの時給）の感想

熱中症は水分やエアコンも本人に拒否されると対応しにくいという病院でも風邪と診断されると仕方なかったケースではあると思ったが、汗が出ていない等の軽度症状は見落とさず通院時報告しようと思った

熱中症は本人も大丈夫と言うことがほとんどで我慢して進行していき、救急搬送ということになることが多いです。体調がおかしい時は水分補給して涼むことが大切だと思います。

ひかりの給与は頑張れば評価してもらえるのでやりがいがあります。ありがとうございます。

熱中症対策、自分自身も気をつけていますが、利用者様に説明対応が必要だと改めて思いました。

熱中症ですが、利用者様の大丈夫という言葉に信頼しすぎず、利用者様の様子をしっかり観るようにしないといけないと思いました。これまでも大丈夫なら、これからも大丈夫は無いと、思わなければと思います。

毎年、温暖化が進んでいるので、暑さ対策はしっかりと気をつけるように心がけている。利用者さんによっては、エアコンを好まない人も居てるが、押し付けでは無く、お互いに快適に過ごせるように歩み寄る事も大事だとの話もあった。

ひかりの賃金は資格手当や資質評価して貰えて、励みになり、有難いです。

風邪だと思っていたのが熱中症だったという事例を聞き、やはり熱中症は怖いなと思いました。天気が曇っていても今は蒸し暑いので、水分補給は自分もそうだが利用者様の様子などをちゃんと見て「大丈夫」と言ったからと言って安心しきっては駄目だと感じました。

定例会議9月分（熱中症の事例、10月からの時給）の感想

ヒヤリハットになりそうなのが利用者さん毎にあるのを実感しました。（薬や食事のことなど）

時給、加算のことなど変わることの説明があるとわかりやすい

熱中症は風邪との違いがわかりにくい為、日々の観察と様子確認が大事だと思いました。まだ暑い日が続いているので気をつけたいと思います。

今年の夏は誰もが油断出来ない猛暑でした。様子がおかしい時は熱中症かなとも思うようにします。リバーランが誰もが見れるとは知りませんでした。気をつけて記述します。

身近に熱中症を経験したことがなくどこかで大丈夫と言う気持ちがあったのですがこれからはもっと気をつけようと思いました。時給の件では頑張り次第で上がるのはとてもいいと思いました。

部屋の中でも本当に暑いですね。利用者にも常にエアコンの件お願いしていますが本人の希望もあり叶いませんが利用者の体調には注意したいと思います。

熱中症の事例や今後の賃金の説明等、丁寧に説明してもらって、良くわかりました

熱中症について、利用者本人が大丈夫と言っても本人が気付いてない場合もあるので、都度様子を見て動いていかないといけないということを知りました。水分を摂ることや、エアコンを使うこと等が大事であると再認識しました。

熱中症にも色々な症状があったら判断することが難しくご本人の様子を長く見ている場合には少しはわかるかもしれませんが、判断するのはと思っています。利用者様との関係性も大事な事でもあります。

定例会議9月分（熱中症の事例、10月からの時給）の感想

熱中症について、10月以降の給与について確認しました。熱中症について、本人さんが嫌でもヘルパーの声かけで意識が変わる場合もあると思うので、常時声かけを実施していきたいと思いました。

熱中症の症例を聞き自身の体験とも照らし合わせると難しい点があると感じました。聞入れてくれなくても粘り強く声かけが必要だと思いました。

事例共有の件ですが、利用者さんの体調確認で、本人の大丈夫は、がまんしていることもあるので、信用してはいけなかったと思います。また、体調不良の時は、支援員さんとか、関係者のかた、巻き込み、様子、伺うことが、大事にならなかったと思いました。これから、気になることあれば、報告、相談したいと思います。